

何たる皮肉をや

一波萬波生投

日本坑夫組合の加藤勘十君が...

勘十君は少くも日本に於ける...

われは日勞黨にせよ、ムン...

警新顧問

（照谷を御迎す）

（四）四歳の女児、夏に...

（一）本年二十一歳の妻、...

（三）それは腎臓病から来...

無名を洗

高橋翔太郎創作



門を途中の松の木蔭に身を...

高久病院

平町田町

電話五二三番

「あッ！」と重助は吃驚仰天ひ...

警城病院

平町田町

電話二一四番

「ナニ清左工門殿が...」

平町富眼科

平町五丁目

電話二一四番

「た、大後で、曲者が...

平町富眼科

平町五丁目

電話二一四番

「た、大後で、曲者が...

平町富眼科

平町五丁目

電話二一四番

「た、大後で、曲者が...

平町富眼科

平町五丁目

電話二一四番

「た、大後で、曲者が...

平町富眼科

平町五丁目

電話二一四番

「た、大後で、曲者が...

仙臺高等商業学校長試験証明

化粧くづれのなる 固煉白粉

平町富眼科 養命糖

七月末迄に決る 縣農會代議員

伊藤氏固辭する色あり 結局は四家氏か

石城郡農會代議員は去る三町村選出代議員二十四名の中に各町村農會から各一人が前掲つてから舉行される名宛選出する事になつてゐる縣農會代議員は現代議員職ながら郡農會の救済に専ら野村伊藤渡の助氏警備も肯せず鹿島、玉川、再任説もあつたが昨赤井、川部、三坂、澤渡の今伊藤氏は後進の路を拓く六ヶ村農會では未だに代議員の選出に就いては六ヶ村農會では未だに代議員の選出に就いては六ヶ村農會では未だに代議員の選出に就いては...

流石に困り抜いた 平町の質屋さん

貸出制限の苦策

貸出制限の苦策... 質屋さん... 流石に困り抜いた... 貸出制限の苦策... 質屋さん... 流石に困り抜いた... 貸出制限の苦策... 質屋さん... 流石に困り抜いた...

偽紙幣現る

四倉署大活動

石城郡大浦村大字狐塚字小... 偽紙幣現る... 四倉署大活動... 石城郡大浦村大字狐塚字小... 偽紙幣現る... 四倉署大活動...

政治教育の試練に 犠牲の候補者

蜜かに闇中飛躍

来る九月の選挙を前に五入山第二回選挙に敗れて... 政治教育の試練に 犠牲の候補者... 蜜かに闇中飛躍... 来る九月の選挙を前に五入山第二回選挙に敗れて...

平地方景氣 花柳界も不振

引き立たぬ

平地方の景氣は花柳界も不振... 引き立たぬ... 平地方の景氣は花柳界も不振... 引き立たぬ...

全部で三萬餘人

郡下の有権者は 貸貸委員の選挙

郡下の有権者は全部で三萬餘人... 貸貸委員の選挙... 郡下の有権者は全部で三萬餘人... 貸貸委員の選挙...

四村方部會

廿九日豊間に

四村方部會... 廿九日豊間に... 四村方部會... 廿九日豊間に...

警察部長

三十日平町へ

警察部長... 三十日平町へ... 警察部長... 三十日平町へ...

桑園の害虫駆除

養蠶同業の奔走

桑園の害虫駆除... 養蠶同業の奔走... 桑園の害虫駆除... 養蠶同業の奔走...

革新聯盟

近々發會の運び

革新聯盟... 近々發會の運び... 革新聯盟... 近々發會の運び...

女中の黒鼠

喰らつた鈴木醫院

女中の黒鼠... 喰らつた鈴木醫院... 女中の黒鼠... 喰らつた鈴木醫院...

大漁唄も賑かに

濱は稀な景氣

大漁唄も賑かに... 濱は稀な景氣... 大漁唄も賑かに... 濱は稀な景氣...

地租恩給

自然落着水

地租恩給... 自然落着水... 地租恩給... 自然落着水...

追加税進の ためせねばならぬ

農村は大正十

追加税進のためせねばならぬ... 農村は大正十... 追加税進のためせねばならぬ... 農村は大正十...

騷擾公判

次回は来月九日

騷擾公判... 次回は来月九日... 騷擾公判... 次回は来月九日...

上田外科醫院

電話一三九番

上田外科醫院... 電話一三九番... 上田外科醫院... 電話一三九番...

乗合あま、自動車

平一四倉間(三〇錢)
●停留所... 平銀行前
毎日午前六時より午後八時迄十分毎に確實に發車、途中で待合せの方は「あま」のマークに御注意下さい

電話付キ貸家

平町山下
一、中野所有家屋
階下十二、八、六三、離八五間、風呂場廣い、内便所二、階上八、二間
電話一三二六番附

ケータール洋服店

行儀... 電話... 高野...

藤沼醫院

内、小兒科、入院應需
電話... 藤沼醫院